

会報



第57号

令和8年7月発行

豊のかけ橋

発行所 佐伯市シルバー人材センター
大分県佐伯市長島町1-28-2

責任者 下 川 健
TEL (0972) 23-3001 FAX (0972) 24-3340



令和八年度定時総会……………(2)

事務局からのお知らせ……………(5)

令和8年度定時総会開催

令和8年度定時総会が佐伯市保健福祉総合センター和楽において開催されました。下川健理事長のあいさつの後、ご来賓として市長代理の山本商工振興課長によりご祝辞が代読され、佐伯市議会議員成迫健児様、佐伯公共職業安定所長加藤育朗様からご祝辞を頂き、メッセージ2通、祝電1通が披露された後、議長に大友健太郎様を選出し議事に入りました。審議の結果、全議案が承認され、終了しました。



会場の様子

理事長あいさつ

下川 健

本日の総会にご足労戴きました会員の皆様、誠にありがとうございます。

ご多忙の中、ご臨席を賜りました来賓の皆様方には、平素のご支援を深く感謝申し上げます。恐縮でございますが、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

この一年、理事・監事、職員、会員各位のご協力の下で、職責を無事に果たすことができました。心より感謝を申し上げます。

佐伯市シルバー人材センターには、現在334人の会員さんが在籍されています。多方面の就業が、地域への貢献という大きな価値を産み出しています。集団が大きくなれば、貢献度は更に大きくなり、新しい価値観も生まれます。身近に働く意欲のある方がおられましたら、入会のお声掛けをしていただければと思います。センターとしても、働きがいのある環境づくりに励んでまいります。就労にはストレスが伴いますが、



下川健理事長

良いこともあります。ダイヤ高齢社会研究財団が、高齢者のフレイル発生活リスクを、二年間追跡研究した結果、健康効果という利点があることを、昨年末に公表しました。

フレイル発症は、健康生活が送れるかどうかの分かれ目と考えてください。全国各地のシルバー会員さんと、会員以外の高齢者さんを比べた結果、フレイル発症率は、シルバー会員さんが、34%低かったということです。

これには、仕事を通じた社会参加により、一つは、孤独感やウツのリスクの軽減、もう一つは、頭を使いながら、適度な運動を伴う作業が、認知症予防などの「精神、心理面の効果」につながっているのではないかとこの考察がなされています。働く

から、元気で健康を保っているということだと思います。皆様には、疲労は溜めずに、安全に心がけて、健康寿命を延ばしていただきたいと思っています。

次に、昨年は猛暑の影響もあつてか、事故が多くありました。今年も酷暑が予想されています。どうか作業前後の安全確認と、熱中症対策に気を付けていただきたいと思います。一番危険を知っているのは現場の皆さんですので、判断を信頼します。

本日の総会は、四件の議題と三件の報告がございます。ご審議を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、地域班の班長並びに関係者の皆様、本総会の会場設営にご尽力をいただき、誠にありがとうございます。皆様方の今後のご活躍を祈念申し上げます。

佐伯市長祝辞

代読 山本商工振興課長

本日は、佐伯市シルバー人材センターの定時総会にお招きいただき誠にありがとうございます。佐伯市シルバー人材センターの皆様には、日頃より多岐にわたる活動を通じて、

高齢者雇用の支援と地域の発展に多大なる貢献をいただいております。とに、心より感謝申し上げます。下川理事長様をはじめ、多くの会員の皆様、センターの運営に携わる関係者の皆様のご尽力に深く敬意を表します。

佐伯市は、少子高齢化が急速に進展しており、本年4月末時点での高齢化率は42・75%となっています。

このような中で、地域社会の担い手不足、そして高齢者の皆様が安心して働き続けられる環境の整備は、喫緊の課題であります。そのような中、シルバー人材センターの皆様は、長年にわたり培ってこられた知識、経験、そして技術を活かし、地域の様々な分野で活躍されています。皆様の献身的なご活躍が、地域に温かい心の通い合いを生み出し、多世代が支え合う「共生のまちづくり」を力強く推進していただいていることに、深く敬意を表します。

佐伯市としても、高齢者の皆様が地域で安心して、そして生きがいを持って活躍できる社会の実現に向け、センターの皆様とともに取り組み、より良い地域社会を築き上げていきたいと思えます。引き続き、皆様の温かいご理解・ご協力を心よりお願い申し上げます。

佐伯市議会議長祝辞

塩月 健治

皆様、こんにちは。

本日は、このように盛大に令和8年度佐伯市シルバー人材センター定時総会が開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。



塩月健治佐伯市議会議長

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と、本日も列席の皆様との今後のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げます、私の祝辞といたします。本日は誠にありがとうございます。

また、日頃より、本市の地域社会の発展にご尽力いただいております。佐伯市シルバー人材センターの皆様に、厚く御礼申し上げます。

さて、本市におきましても、少子高齢化は喫緊の課題であります。人生百年時代と言われる現代において、高齢者の皆様が、健康で、生きがいを持ち、そして何よりも地域社会に貢献できる、そのような環境を整備していくことは、私たち自治体にとって、極めて重要な責務であります。

そのような中、佐伯市シルバー人材センターは、まさに、この時代の要請に応える、地域に根差した、なくてはならない存在であります。

シルバー人材センターの皆様が掲げておられます「自主・自立、共働・共助」の理念は、大変素晴らしいものであります。

この理念は、高齢者が単に労働力を提供するだけでなく、社会とのつながりを維持し、心身の健康を保ち、さらには、地域社会に活気をもたらすという、多角的な効果を生み出しております。

会員の皆様が、これまでの豊富な経験や知識、そして培ってこられた技術を活かし、地域の清掃活動、子どもの見守り、軽作業のお手伝いな

ど、多岐にわたる分野でご活躍されていることは、地域住民にとって、大変心強く、また、ありがたいことであります。

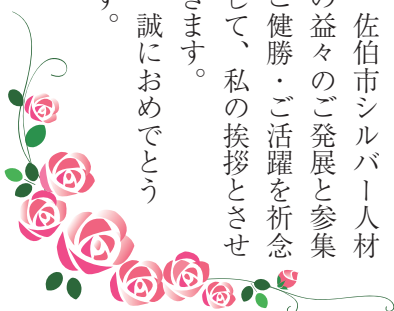
皆様の活動は、地域社会の維持・発展に不可欠な、まさに「縁の下で力持ち」であり、そのご貢献に、改めて敬意を表します。

また、シルバー人材センターは、原則六十歳以上の高齢者で、働く意欲と能力があり、センターの趣旨に賛同する方であれば、どなたでも会員となる、地域に開かれた組織であります。これは、年齢に関わらず誰もが社会との接点を持ち続けられる、希望に満ちた場を提供してくださっている証であります。

佐伯市議会といたしまして、皆様の活動がより一層充実し、地域社会に貢献できるよう、できる限りの支援をさせていただきますと考えております。

結びに、佐伯市シルバー人材センターの益々のご発展と参集の皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。





ご来賓の方々

ご来賓の皆様 (敬称略)

佐伯市長 富高 国子
 (代理) 商工振興課長 山本弘幸
 佐伯市議会議員 塩月 健治
 大分県議会議員 成迫 健児
 佐伯公共職業安定所長 加藤 育朗
 佐伯市商工振興課長 山本 弘幸

祝電・メッセージ (敬称略)

大分県議会議員 御手洗 吉生
 大分県議会議員 清田 哲也
 大分県シルバー人材センター連合会会長 江藤 郁



加藤育朗公共職業安定所長



成迫健児大分県議会議員



山本弘幸商工振興課長

◆ **就任された理事**
 新商工振興課長
 山本 弘幸 様

◆ **退任された理事**
 商工観光部長
 (前商工振興課長)
 村上 昭文 様



全国安全就業スローガン
 (令和8年度から令和10年度まで)

「声掛けは 仲間を守る いのち綱」

事務局からの
お知らせ①

団体傷害保険について

佐伯市シルバー人材センターでは、会員が就業中に傷害などを被った場合に補償を行うため民間の保険に加入しています。補償内容は下表のとおりで、以下の場合に適用されます。

- ・シルバー人材センターの提供した仕事に従事中、シルバー人材センターの主催または指定する講習会、理事会、各種運営会議の出席中
- ・シルバー人材センターの主催するボランティア活動に参加中
- ※仕事場所、会場等と住居の往復中
- 仕事場所間の移動中を含みます。
- また、請負、派遣業務ともに対象となります。

保険金額と保険料

今年度の契約内容は以下の表のとおりです。登録会員全員が被保険者となりますが、一人当たり保険料二千十円は、シルバー人材センターが

保険の種類	保険金額	保険給付対象
死亡保険金	500万円	事故の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合
後遺障害保険金	20万円～500万円	事故の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合
入院保険金日額	1日4,500円	事故日から180日以内で、そのケガが原因で医師の指示に基づき入院した場合（180日限度）
手術保険金	22,500円 又は 45,000円	入院保険金が支払われる場合で、所定の手術を受けた場合
通院保険金日額	1日3,000円	事故日から180日以内で、そのケガが原因で医師の指示に基づき通院した場合（90日限度）

熱中症危険担保特約 有 年間保険料（1人当たり 2,010円）

一括して支払い、会員に別途負担を求めることはありません。

賠償責任保険について

登録会員が業務の遂行中に他人の身体や財物に損害を与えた場合などに、賠償債務を補償するための保険に加入しています。

保険給付の内容(最高限度額)

対人賠償 一名につき三千万円
（一事故・保険期間中一億円限度）
対物賠償 一事故につき一千万円
（保険期間中）

【免責金額】

今年度は、賠償金額のうち10万円が免責金額となり、事故を起こした会員の負担額は表のとおりとなります。

事故損害額	会員負担額	シルバー負担額
1万円以下	全額	なし
1万円を超え 3万円以下	1万円	残額
3万円を超え 10万円以下	30% (但し、1万円 以下は1万円)	残額

【保険料】

保険料は、シルバー人材センターが一括して支払いますので、会員に別途負担を求めることはありません。

※万が一に備えるため保険加入していますが、事故が無いに越したことはありません。これから安全就業にご協力をお願いいたします。

【対物賠償の発生事例】

草刈作業に従事中、不注意により電線・石跳ねにより建物や車両の窓ガラスを破損した事例などがあります。



事務局からのお知らせ②



安全標語の募集のご案内

令和8年度の安全標語の募集をします。

○ひとり3作品まで

(会員またはご家族)

○令和8年7月22日までに事務所へ持参されるか、郵送・FAXで提出ください。



熱中症予防

★室内

扇風機やエアコンを適切に使用して、室温を調整すること。

★外出時

日傘や帽子の着用、日陰を利用し、こまめな休憩をとる。日中の外出を避ける。

★からだの蓄熱を避けるために

- ・通気性の良い衣服の着用
- ・保冷剤・氷・冷たいタオルなどで体を冷やす。

★こまめに水分を補給する

室内でも外出時も、のどの渴きを感じなくてもこまめな水分補給。経口補水液等、塩分等も含んで補給する。

熱中症の症状

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い。



- 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感。

○返事がおかしい、意識消失、けいれん、体が熱い。



高齢者の安全・安心

高齢者の交通死亡事故で最も多いケースは…

道路横断中です。

- ① 確認しないまま渡る。
- ② 左を見ないまま渡る。
- ③ 横断中の七割が左からの車とぶつかっている。
- ④ 信号を無視して渡る。
- ⑤ 駐車している車の直前直後を渡る。
- ⑥ 道路を斜めに横断する。
- ⑦ 横断歩道以外を渡る。
- ⑧ 夕暮れ時、夜間に反射材を付けていない。
- ⑨ 油断大敵！自宅近くが一番危ない！



高齢ドライバーの交通事故

- ① 慎重な運転を心がけましょう。自分の身体機能を過信せず慎重な運転を。
- ② 右左折時や交差点では安全確認を！

●入会説明会の予定

お知らせの方、ご近所の方にご紹介ください。午後1時30分から当センター2階研修室で開催します。

7月28日(火)
8月28日(金)
9月28日(月)
10月27日(火)
11月27日(金)
12月25日(金)
1月28日(木)
2月26日(金)
3月29日(月)

●配分金の支払い予定日

7月27日(月)
8月27日(木)
9月25日(金)
10月27日(火)
11月27日(金)
12月25日(金)
1月27日(水)
2月26日(金)
3月26日(金)

